

熱く燃えた ガタゴンまつり

2010 **秋**号
やまがた

総合支所だより (No.18)

今号の主な内容

- ぐれっと！やまがた街道祭開催 …………… p 2
- 短角牛の里と都市を結ぶ集い …………… p 3
- 久慈消防署山形分署新築移転 ほか …… p 4～5
- おらほの話題 ほか …………… p 6～7
- お知らせ …………… p 8

ぐれつと！やまがた街道祭 10月9日～10日開催

山形町の秋の大イベント「ぐれつと！やまがた街道祭（けえどおさい）」が10月9日（土）と10日（日）の2日間にわたって開催されます。

4回目となる今年も、町内各地に会場が置かれ、山形の魅力を来場者のみなさんにたっぷりお届けします。

「ぐれつと！やまがた街道祭」は、町内の各団体が行うイベントを同時に開催することで、町内はもちろん、市内

外からも山形町に来てもらうと、平成19年に始まりました。

現在では、山形町全ての地区の団体が参加し、開催されるようになりました。

また、今年もスタンプラリーを実施。各会場に設置されたスタンプと、買い物をするともらえるポイントを集めると、山形町の名産品、特産品がもらえます。

さらに、よりたくさんスタンプを集めた方には、抽選で

豪華景品があたるチャンスも。各会場では、山形町の郷土料理や各種体験をご用意してみなさんのお越しをお待ちしております。

広い山形町は、ぐれつと回るだけでも、新しい魅力を発見できることでしょう。

1日ではとても回りきれない盛りだくさんの街道祭。山形町の魅力を十分満喫してください。

（※写真は昨年のもぐれつと！やまがた街道祭の様子です）



おいしそうな郷土料理もたくさん

食欲の秋 会場をぐれつと回って 食べ歩き



いろいろを囲んでのんびり

完全制覇を 目指すまよしの のんびりゆっくり 回るまよし



山形町の特産品も販売します



各種体験も楽しみのひとつ

短角牛の里と 都市を結ぶ集い

7月17日から19日まで首都圏の消費者団体「大地を守る会（藤田和芳会長）」のツアーが久慈市を訪れました。

「大地を守る会」は、可能な限り農薬を使わない野菜を作る人と、おいしくて安心なものが食べたいという人を結ぶことで、自然豊かな環境を具体的に守っていくことを目的に昭和50年に設立されました。山形町との交流は、昭和58年から始まり、今年で28回目を迎えます。

毎年、短角牛とのふれあいと生産農家への民泊をしました。今年も口蹄疫問題で断念。バスから牧場を見学



高～い 怖～い 楽し～い♪

することになりました。

しかし、牛と触れ合うことは出来なくても山形町の魅力はまだまだまだたくさんあります。

1日目はエリート牧場をバスから見学したあと、平庭高原でツリーイングを体験し、散策もしました。

その後は、町内の生産者と一緒に、バーベキュー。生産にかける情熱や苦労話に耳を傾けていました。

2日目は午前中、山形から町の子朝市を見学。昼食で食べるウニを自分たちで殻むきをし、ウニ丼にして食べました。



お友達が増えました

午後には、内間木で洞窟体験やシャワークライミング、夜にはみんなで花火を楽しみました。

最終日は、バツタリー村で豆腐作りや草木染の体験をして3日間のツアーを終えました。

神奈川県川崎市から初めて参加したという神田宏さん、志穂さん夫婦は「生産者が苦労しているという記事を読んだら参加しようと思った。久慈は最高でした。牛に直接会えなかったのは残念だけど、放牧している牛が夜も牛舎に帰らず外で寝ていると聞いて驚いた。自然の中で育っているんだと感じた」と、短角牛のおいしさの秘密を垣間見た様子でした。

また、東京都新宿区からの参加で、このツアー常連の小柳嘉幸さん、三恵子さん夫婦は「迎えてくれる皆さんが、豆腐ひとつにしても手間をかけてもてなしてくれるのがうれしい。何度も訪れ、顔見知りになっている人たちに会うのが楽しみ」とツアーの魅力を語ってくれました。

山形にはもう100回以上

来ていたという大地を守る会畜産水産グループ長の吉田和生さんは「牛に会えない、民泊が出来ないというのにはやはり残念だが、久慈にはまだまだ魅力があるというところが実感できた。一番の魅力はやはり人だと思おう。ご飯がおいしい、自然が多いというのももちろんあると思うが、

迎えてくれる人たちの温かさやもてなしの心がリピーターを呼んでいると思う」と、話してくれました。

このツアーは、非常にリピーター率が高く、毎年抽選になる人気ツアーとのこと。人と人とのつながりを大切にしてきたことが、これほど長い間継続されてきた理由なのかも知れません。



最後にみんなで記念撮影 また来年お待ちしております！

久慈消防署山形分署新築移転

気持ち新たに防災呼びかける

昨年10月から新築工事を進めていました、久慈消防署山形分署（長畑隆史分署長）庁舎が山形総合支所敷地内に完成し、このほど移転しました。総合支所と隣接することで、災害時だけでなく、平常時においてもよりスムーズな連携が期待されます。

旧山形分署は、昭和48年に開所して以来、約37年間にわたり山形町の安全を見守ってきました。

しかし、施設の老朽化が進むとともに、7名体制、ポンプ車1台だった開所当時に比



開署式のテープカットの様子



新しくなった山形分署

べ、現在は署員15名、消防車や救急車など計5台と体制が強化されたことで手狭となり、新庁舎の建設が進められています。

8月2日に行われた開署式には、多くの関係者が参加し、新しくなった分署の見学も行われました。

新分署は鉄骨造平屋建て。事務室には会議スペースも設けられ、仮眠室は個室形式でプライバシーに配慮されています。

また、救助訓練塔を兼ねたホース乾燥塔も造られ、日々



個室形式の仮眠室

の訓練に活用されます。

職員は、当日からさっそく新庁舎での業務を開始。長畑分署長は「心機一転、さらにも身を引き締め、地域の皆さんが安全で安心して暮らせる消防防災体制の充実と強化に努めてまいります」と、誓いを新たにしていました。

救急フェア開催



いつでも出動できるよう準備しています

9月12日（日）午後1時から午後4時まで、山形分署前で救急フェアが開催されます。9月9日から15日までの救急医療週間にあわせて開催するもので、救急車の展示や応急手当の講習会などが行われます。

講習会では、AED（自動体外式除細動器）を使用した心肺蘇生法の体験など、いざというときに役立つ知識を習得できます。

いづこで災害に遭遇するかわかりません。そのときに慌てず、正しい応急手当ができるよう、この機会に身につけておきましょう。

また、救急フェアでは、血圧測定コーナーや新庁舎の見学も行いますので、お気軽に足をお運びください。

お問い合わせは久慈消防署山形分署（72-3119）まで。

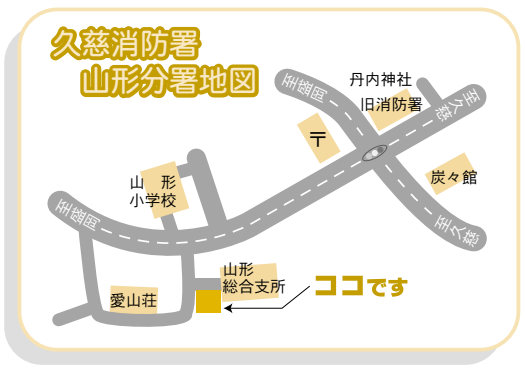
久保消防士全国へ

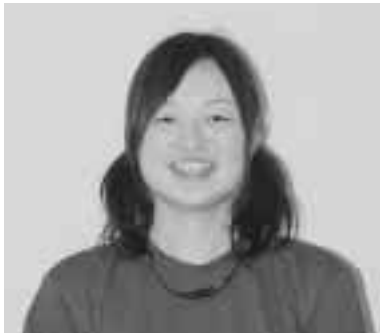
山形分署に勤務する久保優紀消防士が8月27日に京都市で行われた、消防救助技術全国大会に出場しました。

久保消防士は、6月25日の消防救助技術若手県大会において、種市分署の川崎俊一消防士とチームを組み、ロープ応用登はんの部でみごと優勝。全国大会への切符を手にしました。

全国大会では練習の成果を発揮し、見事入賞を果たしました。

山形分署では、昨年の上大博文消防士長の全国大会出場に続き、2年連続出場となりました。





「海外で結婚式が夢」

どろざき ともみ
泥崎 智美さん(荷軽部)

- 自分の性格を一言で
優柔不断で流されやすい。
- 今欲しいものは
カー用品を集めてバージョンアップしたい。今は軽だけど、いつかは大きな車に乗りたいです。
- 休日の過ごし方は
家の手伝いをしたり、友達と遊んだり。外に出ることが多いです。
- 好きな男性のタイプ
自分の意見をもっていて、ちょっと変わりもの(笑)。
- 最後に一言
早く仕事に慣れて、職員の皆さんと打ち解けたいです。

プロフィール

- 年齢 20歳
- 血液型 A型
- 勤務先 愛山荘



真剣な表情で金魚を狙う

また、ガタゴン広場では、「金ー1グランプリinガタゴン」が開かれ、小学生が3人で1チームを組み、トーナメント戦で優勝を競っていました。中には出目金だけを狙うこだわり(?)の戦法をとる子どももいました。

また、流し踊りには、各地区の参加者が、色鮮やかな浴衣や半てんに身を包み、沿道に詰め掛けた観客からの歓声に応えていました。

山車には多くの子どもたちが参加し、元気な掛け声とともに一生懸命山車を引いていました。

8月18日、「ガタゴンまつり」(同実行委員会主催)が開催されました。今年で17回目を迎える「ガタゴンまつり。今年もたくさ

んの催しが企画され、大勢の人が参加しました。午前中には久慈市屋内ゲートボール大会「ガタゴン杯ゲートボール大会」が開催されました。

午後には川井商店街で、みこし・山車・なやどやら流し踊りが行われました。開会セレモニーでは、よさこいソーランや大黒舞が披露され、祭りを盛り上げていました。

17時からガタゴン広場でステージイベントが開かれ、久慈東高校吹奏楽部のコンサートや山形中学校生徒のよさこいソーラン、久保流一行による津軽三味線や民謡など、山形町内だけでなく、市内外から参加しました。

ステージイベント後には全員参加の盆踊りが行われ、みんなで輪になって踊りました。参加した人には抽選券が配られ、最後に抽選会が行われました。

晴天の下、盛大に開催

ガタゴンまつり



まつりを彩る流し踊り

よ

山形地区健康マラソン大会

地区民の健康・体力の保持促進を目的に「山形地区健康マラソン大会」(特定非営利活動法人やまがた文化・スポーツNPO主催)が7月3日(土)、霜畑地区で開催されました。

旧山形村時代から数えて24回目となるこの大会。コースは霜畑地区コミュニティセンターをスタートとゴール地点にした1周2.2キロメートルの周回コース。タイム宣言の部、スピードの部、継走の部に分かれて行われ、町内各



みんな、がんばれー!

地区の小学生から大人まで参加しました。

開会式では上有谷光夫大会長から「この大会は地域の皆さんの協力や熱意によって成り立っています。選手のみならずは日頃鍛えた足を存分に発揮してください」とあいさつしました。

選手宣誓は久慈高校陸上部の久保泰平さん。「暑い日差しの中、日頃の成果を出し切ることを誓います」と力強い宣誓をしてくれました。

タイム宣言の部では、あらかじめ申告していたタイムと走ったタイムの差が少ないほど上位。

いつも以上の力を発揮して1番に帰ってきた佐々木陸くん(霜畑小1年)は「1番獲ったどろ!」と満足そう。残念ながら早すぎて入賞を逃してしまいました。

朝は熱中症が心配されるほどの青空でしたが、しだいに雲が広がり、時折り雨が降るあいにくの天気。最後まで



馬も疾走!...って、誰?

出来るか心配されましたが、なんとか天気も持ちこたえ、全種目を行うことが出来ました。

閉会式での講評で霜畑小学校の佐藤真校長は「入賞者の皆さんおめでとうございます。今日参加した全員が完走したことはすばらしい。健康マラソンの趣旨を達成できたと思う」と、選手たちの力走をたたえていました。

み

延寿の森を草刈り んなできれいに

山形地区老人クラブ連合会が平庭高原中継基地に隣接した、フォレストボード周辺にある延寿の森の草刈りを行いました。

延寿の森は、山形地区老人クラブ連合会が昭和55年にオ

ンコの木100本を植樹。平成2年にはレンゲツツジ100株を植樹しています。

草刈りをしてきれいになった延寿の森。森の中を散歩するのは、とても気持ちがいいものです。



こんなにきれいになりました

伝

北上・みちのく芸能まつりに参加 えよう、伝統芸能

8月8日(日)に霜畑芸能保存会が、北上市で開催された「第49回北上みちのく芸能まつり」に参加し、「霜畑念仏



北上駅前で見事な舞を披露

剣舞」を披露しました。北上みちのく芸能まつりは全国から芸能団体が集まる大イベント。久慈市からは唯一の参加でした。

衣装は手作り。太鼓は以前から所有していたものに加え、霜畑老人クラブが社会福祉法人岩手県共同募金会から補助を受けて整備したのもも使用しました。8月のガタゴンまつりでも流し踊りで活躍しました。

帰省客へ安全運転 呼びかける

8月12日(木)、道の駅白樺の里やまがたで帰省客などへ安全運転の呼びかけが行われました。

これは、久慈地区交通安全協会山形分会(谷地忠一分会長)が中心となって毎年行っているもので、交通量の増えるお盆の時期に実施されています。

道の駅に車が誘導されると、関係者が飲み物やチラシが入ったティッシュを配るなどして、安全運転を呼びかけていました。



1台ずつ安全運転を呼びかけました

みんなで歩こう もうひとつの塩の道

8月10日(火)の「道の日」には県の県北広域振興局土木部が主催する『もうひとつの「塩の道」～旧伊保内街道～』が荷軽部地区で開催され、久慈と二戸から集まった参加者が、約3kmほどの道のりを歩きました。

途中の休憩所では、「一戸山形線の歴史と景観を考える会」の夏井嘉一郎副会長から県北地方のすばらしさを再認識できる講話があり、参加者は「貴重な話を聞くことができた」と話していました。



木漏れ日の中をみんなで歩きました



意見発表する出町由里花さん

早

期着工目指して

平庭トンネル早期着工・完成促進住民大会

6月5日(土)、平庭山荘白樺ホールで、「第9回国道281号線平庭トンネル早期着工・完成促進住民大会」(同

実行委員会主催)が開催されました。

平庭付近は急カーブ、急勾配が続く交通の難所。県では平庭トンネル構想を発表していますが、未だ着工になっていません。

大会には、近隣市町村長のほか、県選出の国會議員などが出席しました。

また、住民代表として橋本香澄さん、出町由里花さんが平庭トンネルの必要性を訴え、最後に、関係機関に対し平庭トンネルの早期着工・完成を強く要望することを確認して大会は終了しました。

健

康が一番

山形町シルバースポーツ大会

6月25日(金)、第5回山形シルバースポーツ大会(山形地区老人クラブ連合会主催)

が山形B&G海洋センター体育館で開催されました。

開会式では、戸崎武文大会長から「最大の目的は健康の保持増進。健康は一朝一夕では得られない。大会を契機として体を動かすことに励んでもらいたい」と激励のあいさつがありました。

また、久慈市老人クラブ連合会の村田東助会長は「笑顔は人も自分も助けるとい言葉を大切に、今日一日が楽しく有意義になるよう祈念します」と祝辞を述べました。

競技は全7種目で行われ、第2種目のスリッパ飛ばしでは、勢いあまって転倒する人も。

各種目とも白熱したプレーが続ぎ、周りからは歓声があがっていました。

また、最高齢で参加した関地区の岩井仁太郎さんは、ボール転がしリレーに出場しました。



最高齢参加の岩井仁太郎さん

ないすっかりとした足取り。「普段から草刈りなどをしてい」とのこと。やはり、適度に体を動かすことは、長生きの秘訣のようです。

昼休みには、川井児童館の子どもたちが、かわいいダンスを披露してくれました。優勝は小国地区。得点で2チームが並びましたが、上位になった種目の数で関地区を上回り、接戦を制しました。



山形のカレンダー 9月～11月

月	日	曜	行	事
9	5	日	平庭市	
19	日	平庭市		
21	火	秋の交通安全運動街頭啓発		
30	木	山形地区敬老会		
10	3	日	平庭市	
			山形地区総体パークゴルフ大会	
9	土	ぐれっと！やまがた街道祭（10日まで）		
10	日	平庭市大感謝祭		
11	日	ウォーキング教室		
17	日	平庭闘牛大会もみじ場所		
23	土	山形地区総合文化祭（24日まで）		
31	日	山形地区フットサル大会		
中	旬	秋の犬の登録・狂犬病予防集注射		
下	旬	第62回九戸地方日本短角種子牛共進会		
11	21	日	海洋センターゲートボール大会・トリプル大会	
			山形地区総体綱引き大会	
28	日	山形地区総体閉会式（海洋センター）		

※日程は変更となる場合がありますのでご了承ください。

お知らせ

地域コミュニティ振興事業を追加募集します

市では、各地域がそれぞれの個性を発揮し活力ある社会を創出するため、市内で組織される団体等が行う事業に要する経費に対して、「地域コミュニティ振興事業補助金」を交付してまいります。

平成22年度分について追加募集しますので、積極的にご利用ください。

【対象事業】

- ・地域の一体感醸成など地域振興を目的とする事業
- ・歴史、文化、伝統芸能の継承活動や保存を目的とする事業
- ・自然環境の保全と活用を目的とする事業
- ・地域で活動する人材の育成を目的とする事業 など

【補助率】

- ・ハード事業 3分の2
- ・ソフト事業 4分の3
- ※限度額 どちらも100万円

【問い合わせ先】

山形総合支所 ふるさと振興課（72-2111）

防災行政無線受信

状況調査にご協力を

市では、山形町の各世帯に配置しています防災行政無線戸別受信機の受信状況の実態把握のため、聞き取り調査を実施しています。

調査は、12月末までの予定ですが、実施時期を地区ごとにお知らせしますので、ご理解、ご協力をお願いします。

詳しくは、山形総合支所ふるさと振興課（72-2111）まで、お問い合わせください。

編集後記

▽暑いですね～みなさん熱中症になっただけでも汗が背中を流れていくのがわかります。▽先日、カメラを持ってうろろしていると「今度うちのほうで〇〇やるから取材来てよ」と声をかけてもらえました。山形に馴染むのに、一歩前進したかな。（野田）

紙写真の表写



晴天に恵まれた今年のがタゴまつり。楽しみにしていた方も多いのではないのでしょうか。まつりが過ぎればもうすぐ秋…のはずなんですけどね。

山形地区総合文化祭開催

10月23日（土）から24日（日）の2日間、山形地区総合文化祭が開催されます。

秋は何をするにも気持ちのいい季節ですが、芸術の秋はいかがでしょうか。

今年は、例年の作品展示や郷土食販売に加え、町民芸能部門舞台発表も24日（日）11時から行われます。

ただいま参加者・団体を募集しています。みなさんどしどしご応募ください。

【開催日】10月23日（土）～24日（日）

【会場】おらほーる、山形老人福祉センター

【問い合わせ・応募先】

同実行委員会（おらほーる内）72-3711

【応募締め切り】9月15日（水）まで